

やまぐちっ子学力向上だより

第 1 3 5 号 R5.10.10

山口県教育庁義務教育課

CBTのよさを生かして ～山口県学力定着状況確認問題～

全国学力・学習状況調査の質問紙調査において、山口県はICTの使用頻度が全国と比べて高い状況にあることが分かっています。そのような中、本年度もCBTにより山口県学力定着状況確認問題を実施します。各学校においては、実施に向けて御準備いただきありがとうございます。実施に際しては、CBTのよさを生かして、以下の点を大切にしていいただければと思います。

1 学力の状況を速やかに把握し、指導の工夫を図る

ほとんどの問題について、調査実施後、すぐに結果が分かるのがCBTで実施することのよさの一つです。県全体の結果を待つことなく、自校の子どものよさと課題を速やかに分析し、課題の解決に向けて指導の工夫改善を図っていきましょう。子どもたちは、分からなかった問題を分かるようになりたいと思っています。

2 課題が見られた問題に再挑戦するよう働きかける

実施した問題に、「いつでも・どこでも・何度でも」取り組むことができるのもCBTのよさです。授業や補充学習等で、課題が見られた問題の解説を行い、問題に再挑戦するよう働きかけましょう。子どもたちは、分からなかった問題が分かるようになった喜びを感じ、学習に対する意欲が高まるでしょう。

となりの学校、どうやっているの？ ～やまぐち学習支援プログラム活用推進研修会～

11月7日（火）に山口県セミナーパークにて、「やまぐち学習支援プログラム活用推進研修会」を実施します。内容は、やまぐち学習支援プログラムを効果的に活用している4校の事例発表です。

- * 岩国市立麻里布中学校
- * 周南市立秋月小学校
- * 下関市立安岡小学校
- * 萩市立大井小中学校

どの学校も、子どものやる気を引き出し、学力の定着を図るための取組を進めておられます。活用に関するたくさんのヒントを得ることができると思いますので、ぜひ御参加ください。参加申込方法等については、市町教育委員会を通して配付しました文書で御確認ください。

となりの学校、どうやってるの？

～やまぐち学習支援プログラム活用推進研修会～

～発表校～



2023.11.7 14:00～15:50
@セミナーパーク

連載

授業力向上実践研究指定校の取組と成果①

ChallengeからChangeへ ～山口市立川西中学校～

県内7校の授業力向上実践研究指定校において、公開授業研究会がはじまりました。本号から連載形式で、各指定校の取組や成果を紹介します。

9月21日（木）の午後に山口市立川西中学校で実施された研究会では、金山泰樹教諭による1年社会科、古屋壮一教諭による1年数学科、青山祐希教諭による3年音楽科の授業が公開されました。いずれの授業においても、協働学習や自己調整力につながる振り返りの場面において、ICTが活用されていました。ICTの活用を進めるために川西中学校が行った主な取組は以下の通りです。

1. 授業でのICT活用例の共有

職員会後の10分程度で、校内教員が授業でICTを活用している場면을説明

2. 地域参加型道徳におけるICTの活用

地域の方から見たICT活用方法の工夫についての助言、検討

3. 山口市教育委員会情報教育支援アドバイザーの招聘

ICT活用事例とSKYMENU Cloud機能についての説明

Chromebookを使った研修

4. やまぐち総合教育支援センター研究指導主事の招聘

川西中学校区（4校）小中合同研修会におけるICT研修

5. 授業担当者と指導助言者の連携

必要に応じた随時の打ち合わせと指導案検討



研修主任の鈴木邦幸教諭は、年度初めからの変化として、教員間の日常会話の中でICTの話題が増えたことを感じておられました。先生方の関心の高まりと前向きに学び合う姿勢がうかがえます。「現在、全校におけるICTの活用は100%と言えるが、1人1台端末を生徒たちが活用する機会については十分とは言えない。今後は使う場面を判断し、効果的な活用につなげていきたい。」という言葉が印象的でした。

連載

若手教員スキルアップ研修を生かして①

めあての提示の工夫 ～小野田中学校・山形先生～

8月の若手教員スキルアップ研修に参加した先生方が、研修会の中で検討した学習指導案を基に授業をされています。本号から連載形式で、研修の成果を授業において発揮されている先生方を紹介します。

山陽小野田市立小野田中学校 山形真穂先生

社会科「乾燥した地域の暮らし」

子ども一人ひとりの考えを丁寧に見取り、価値付けながら授業を進めておられました。山形先生に、研修で学んだことをどのように生かしておられるかをお聞きました。

「これまでは、授業初めにめあてを提示して授業をスタートしていました。しかし、研修会後からは、今日の授業も含めて、最初に資料を見せるようにして、子どもとやり取りをする中でめあてを提示するように工夫しています。この流れの方が、子どもが意欲的に取り組んでいるように思います。」

